

世界銀行債券ファンド（毎月分配型） 〈愛称 ワールドサポーター〉

運用報告書（全体版）

第191期（決算日 2023年5月12日） 第193期（決算日 2023年7月12日） 第195期（決算日 2023年9月12日）
第192期（決算日 2023年6月12日） 第194期（決算日 2023年8月14日） 第196期（決算日 2023年10月12日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）」は、2023年10月12日に第196期の決算を行ないましたので、第191期から第196期の運用状況をまとめてご報告申しあげます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2007年6月21日から原則無期限です。
運用方針	主として投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への直接投資は行ないません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、基準価額水準などを勘案して、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<940860>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落				
	円	円	円	%	%	%	百万円	
167期(2021年5月12日)	2,187		10		2.0	—	98.7	11,339
168期(2021年6月14日)	2,220		10		2.0	—	98.4	11,402
169期(2021年7月12日)	2,163		10		△2.1	—	98.7	11,010
170期(2021年8月12日)	2,156		10		0.1	—	98.6	10,883
171期(2021年9月13日)	2,163		10		0.8	—	98.7	10,760
172期(2021年10月12日)	2,142		10		△0.5	—	98.7	10,552
173期(2021年11月12日)	2,160		10		1.3	—	98.5	10,471
174期(2021年12月13日)	2,094		10		△2.6	—	98.5	10,055
175期(2022年1月12日)	2,137		10		2.5	—	98.3	10,158
176期(2022年2月14日)	2,157		10		1.4	—	98.8	9,979
177期(2022年3月14日)	2,097		10		△2.3	—	98.7	9,613
178期(2022年4月12日)	2,273		10		8.9	—	98.6	10,265
179期(2022年5月12日)	2,247		10		△0.7	—	98.5	9,998
180期(2022年6月13日)	2,334		10		4.3	—	98.6	10,278
181期(2022年7月12日)	2,254		10		△3.0	—	98.5	9,869
182期(2022年8月12日)	2,251		10		0.3	—	98.6	9,796
183期(2022年9月12日)	2,367		10		5.6	—	98.5	10,214
184期(2022年10月12日)	2,336		10		△0.9	—	98.6	9,989
185期(2022年11月14日)	2,309		10		△0.7	—	98.5	9,778
186期(2022年12月12日)	2,243		10		△2.4	—	98.5	9,472
187期(2023年1月12日)	2,233		10		0.0	—	98.7	9,394
188期(2023年2月13日)	2,198		10		△1.1	—	98.6	9,199
189期(2023年3月13日)	2,262		10		3.4	—	98.4	9,431
190期(2023年4月12日)	2,289		5		1.4	—	98.6	9,528
191期(2023年5月12日)	2,331		5		2.1	—	98.6	9,558
192期(2023年6月12日)	2,452		5		5.4	—	98.6	9,875
193期(2023年7月12日)	2,488		5		1.7	—	98.6	9,886
194期(2023年8月14日)	2,559		5		3.1	—	98.5	10,003
195期(2023年9月12日)	2,545		5		△0.4	—	98.7	9,857
196期(2023年10月12日)	2,558		5		0.7	—	98.5	9,823

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 複数の投資信託に分散投資を行なうため、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

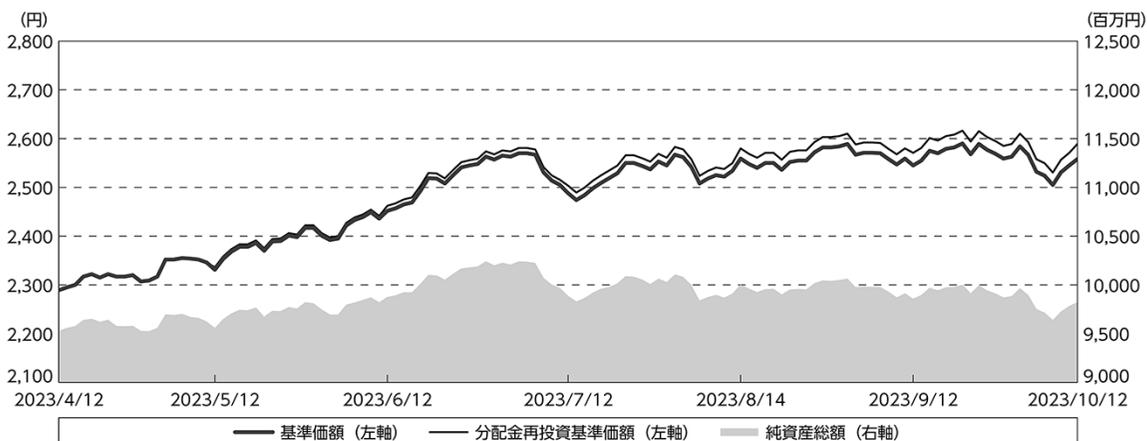
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
第191期	(期 首) 2023年4月12日	円 2,289	% —		% 98.6	
	4月末	2,317	1.2		98.5	
	(期 末) 2023年5月12日	2,336	2.1		98.6	
第192期	(期 首) 2023年5月12日	2,331	—		98.6	
	5月末	2,401	3.0		98.3	
	(期 末) 2023年6月12日	2,457	5.4		98.6	
第193期	(期 首) 2023年6月12日	2,452	—		98.6	
	6月末	2,565	4.6		98.4	
	(期 末) 2023年7月12日	2,493	1.7		98.6	
第194期	(期 首) 2023年7月12日	2,488	—		98.6	
	7月末	2,545	2.3		98.6	
	(期 末) 2023年8月14日	2,564	3.1		98.5	
第195期	(期 首) 2023年8月14日	2,559	—		98.5	
	8月末	2,589	1.2		98.4	
	(期 末) 2023年9月12日	2,550	△0.4		98.7	
第196期	(期 首) 2023年9月12日	2,545	—		98.7	
	9月末	2,563	0.7		98.5	
	(期 末) 2023年10月12日	2,563	0.7		98.5	

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

（2023年4月13日～2023年10月12日）

作成期間中の基準価額等の推移



第191期首：2,289円

第196期末：2,558円（既払分配金（税込み）：30円）

騰落率：13.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2023年4月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

- ・高利回りの新興国通貨建て世界銀行債券からの利息収入を得たこと。
- ・コロンビアペソ、メキシコペソ、インドルピー、ポーランドズロチなど一部の組入通貨が対円で上昇したこと。

＜値下がり要因＞

- ・チリペソなど一部の組入通貨が対円で下落したこと。
- ・信用スプレッド（利回り格差）が拡大したこと。

投資環境

（債券市況）

新興国市場は、中国のゼロコロナ政策によって経済成長が抑制されていたものの、同国が2022年12月に政策を転換すると、2023年初めに追い風を受けました。この転換は、中国共産党の第20回全国代表大会とその後の全国的な抗議活動後に実施されました。しかし、発表される指標からは、中国の景気回復が概して失速しているとの見方が強まっており、消費者の行動が落ち込んでいるほか、住宅用不動産市場が低迷しています。当局は、金融・財政の両面で様々な景気刺激策を実施する用意があると表明しているものの、現在のところ断片的で、動きがやや緩慢であるように思われます。中国以外では、複数の新興国の中央銀行が積極的な利上げを実施し、金融政策のスタンスを引き締めました。これによりディスインフレ環境が生まれており、中南米や東ヨーロッパを中心とする複数の中央銀行が利下げを実施しました。

ロシアによるウクライナへの侵攻から1年半以上が経過しましたが、地政学的リスクは依然として欧州新興国市場の資産に対する懸念材料となっています。しかし、冬の気候が例年よりも温暖であったことに加えて、大量の液化天然ガス（LNG）を含む代替エネルギー供給を2022年中に大量に確保したことによって、欧州における天然ガス供給の見通しは改善したとみられます。こうした状況を背景に、欧州の天然ガス価格は2022年の夏場のピーク水準から大幅に下落しています。しかし、足元では、石油輸出国機構（OPEC）加盟国とロシアなど非加盟の産油国からなるOPECプラスによる協調減産の継続に加えて、サウジアラビアとロシアによる追加的な自主減産の継続を背景に原油価格が急上昇しており、コモディティ輸入国ではディスインフレの進行が困難になるほか、自国通貨の下落に直面する可能性があります。

（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.01%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.30%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.21%近辺で期間末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA）

当ファンドでは、新興国通貨建ての世界銀行の短期債券を中心に分散投資を行ないました。期間末時点では、メキシコペソ、インドネシアルピア、ポーランドズロチ、ブラジルレアル、インドルピー、南アフリカランド、チリペソ、中国人民元、コロンビアペソなどの通貨建ての世界銀行債券に投資を行なっています。期間中、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）面の追い風が強く、インカム創出力が魅力的な水準にあるとみられる通貨の投資比率を高位に維持しました。

期間中に、ポーランドズロチの投資比率を引き上げました。地域のエネルギー状況が回復しインフレ動向が改善して、国際収支全般がより良好となりました。また、長期にわたる右派政権が再選を逃す可能性があるとともに、野党連合は市場重視型の姿勢を強めるとみられることから、議会選挙を受けて上振れる可能性があるかとみています。インドルピーについては、多くの多国籍企業がサプライチェーン（供給網）の分散を図っており、インドは競争力のある賃金、労働力の増加、力強い生産性の伸びに支えられ、テクノロジーセクター内で主に恩恵を受ける立場にあるとみられることから、中期的にポジティブな見方を維持しています。また、JPモルガンの新興国債券指数「GBI-EMインデックス」にインドが採用されることにより資金が流入するとみられます。こうした環境下、当ファンドでは現地通貨建て債券市場が力強く上昇するとみて、インドの投資配分をさらに引き上げました。一方、メキシコペソについては、ポジションの削減を決定しました。当ファンドでは、同通貨のこれまでの上昇は持続不可能とみており、2024年に予想されているメキシコの中央銀行の緩和サイクルが開始される場合は、幾分調整する可能性があります。チリペソについても、中央銀行による積極的な金融緩和サイクルを受けて、かつて同通貨が提供していた利回りの下支えが弱まり、チリペソ自体に下落圧力が掛かるとみられたことから、配分を引き下げました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
	2023年4月13日～ 2023年5月12日	2023年5月13日～ 2023年6月12日	2023年6月13日～ 2023年7月12日	2023年7月13日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月12日	2023年9月13日～ 2023年10月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	5 0.214%	5 0.204%	5 0.201%	5 0.195%	5 0.196%	5 0.195%
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	71	74	76	79	80	82

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA）

世界的に経済成長が鈍化している状況下で、新興国市場の相対的に高い経済成長が、依然として投資家を引き付ける要因となる可能性が高いとみています。コストプッシュインフレ（原材料費や賃金の急激な上昇により引き起こされる物価上昇）圧力の上昇を受けて、新興国の中央銀行の多くが積極的に金融政策の正常化を続けていますが、先進国の中央銀行と異なり予防的な措置となっています。こうした動きにより、新興国市場ではインフレ期待が引き続き安定的に推移し、先進国市場との実質金利差が魅力的な水準になるとみられます。また、新興国通貨のバリュエーション（価値評価）は引き続き魅力的であると考えています。

引き続き、新興国通貨建ての世界銀行の短期債券に分散投資を行なっていく方針です。原則として、中・長期的に高いリターンが予想される主要新興国の投資比率を高位に維持していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 4 月13日～2023年10月12日)

項 目	第191期～第196期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 12	% 0.495	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(4)	(0.149)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(8)	(0.330)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(0)	(0.017)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	12	0.514	
作成期間の平均基準価額は、2,496円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

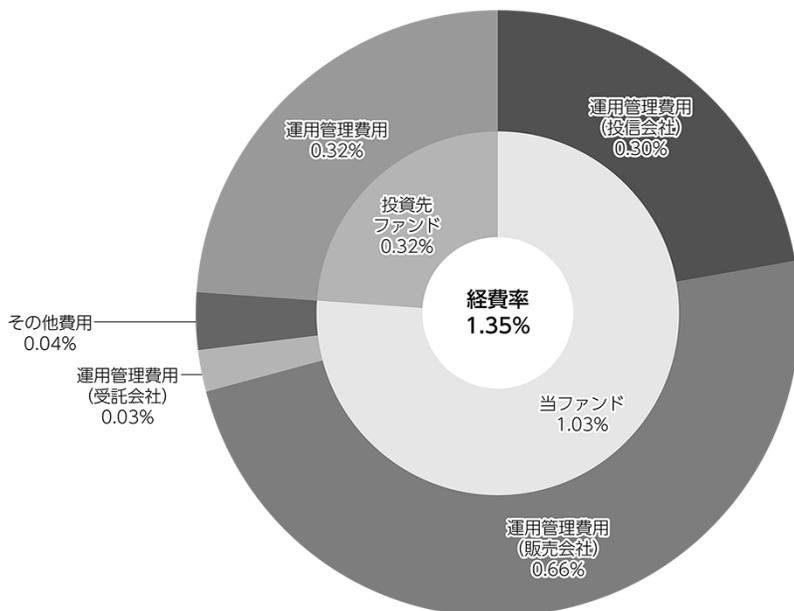
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.35%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.35
①当ファンドの費用の比率	1.03
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.32

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年4月13日～2023年10月12日)

投資信託証券

銘柄		第191期～第196期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	千口 —	千円 —	千口 2,530,950	千円 790,727

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年4月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年4月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年4月13日～2023年10月12日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年10月12日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第190期末	第196期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	32,430,116	29,899,165	9,678,359	98.5
	合計	32,430,116	29,899,165	9,678,359	98.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘 柄	第190期末	第196期末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・オープン・マザーファンド	千口 9,000	千口 9,000	千円 9,136

(注) 親投資信託の2023年10月12日現在の受益権総口数は、306,139千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年10月12日現在)

項 目	第196期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,678,359	% 98.0
マネー・オープン・マザーファンド	9,136	0.1
コール・ローン等、その他	186,283	1.9
投資信託財産総額	9,873,778	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第191期末	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末
	2023年5月12日現在	2023年6月12日現在	2023年7月12日現在	2023年8月14日現在	2023年9月12日現在	2023年10月12日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	9,608,002,647	9,928,432,847	9,933,160,820	10,064,176,602	9,908,160,806	9,873,778,882
コール・ローン等	177,558,145	176,900,685	177,188,108	201,722,051	173,418,053	186,282,113
投資信託受益証券(評価額)	9,421,305,827	9,742,393,487	9,746,834,037	9,853,316,776	9,725,604,978	9,678,359,894
マネー・オープン・マザーファンド(評価額)	9,138,675	9,138,675	9,138,675	9,137,775	9,137,775	9,136,875
(B) 負債	49,213,204	52,637,263	46,403,246	61,033,287	50,225,794	49,873,187
未払収益分配金	20,500,496	20,137,914	19,870,163	19,543,883	19,366,275	19,201,339
未払解約金	20,588,592	23,732,120	17,457,826	31,420,774	21,601,508	20,955,342
未払信託報酬	7,825,307	8,190,450	8,221,249	8,910,761	7,840,605	8,027,659
未払利息	124	239	65	337	199	69
その他未払費用	298,685	576,540	853,943	1,157,532	1,417,207	1,688,778
(C) 純資産総額(A－B)	9,558,789,443	9,875,795,584	9,886,757,574	10,003,143,315	9,857,935,012	9,823,905,695
元本	41,000,993,785	40,275,829,358	39,740,326,078	39,087,767,116	38,732,550,245	38,402,679,306
次期繰越損益金	△31,442,204,342	△30,400,033,774	△29,853,568,504	△29,084,623,801	△28,874,615,233	△28,578,773,611
(D) 受益権総口数	41,000,993,785口	40,275,829,358口	39,740,326,078口	39,087,767,116口	38,732,550,245口	38,402,679,306口
1万円当たり基準価額(C/D)	2,331円	2,452円	2,488円	2,559円	2,545円	2,558円

(注) 当ファンドの第191期首元本額は41,637,352,707円、第191～196期中追加設定元本額は598,788,079円、第191～196期中一部解約元本額は3,833,461,480円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第191期0.2331円、第192期0.2452円、第193期0.2488円、第194期0.2559円、第195期0.2545円、第196期0.2558円です。

(注) 2023年10月12日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は28,578,773,611円です。

○損益の状況

項 目	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
	2023年4月13日～ 2023年5月12日	2023年5月13日～ 2023年6月12日	2023年6月13日～ 2023年7月12日	2023年7月13日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月12日	2023年9月13日～ 2023年10月12日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	31,879,767	31,320,686	30,904,031	30,486,175	30,136,959	29,870,811
受取配当金	31,883,658	31,326,358	30,910,518	30,494,473	30,143,624	29,873,490
支払利息	△ 3,891	△ 5,672	△ 6,487	△ 8,298	△ 6,665	△ 2,679
(B) 有価証券売買損益	172,167,224	482,902,210	138,707,352	276,667,813	△ 56,988,758	47,504,160
売買益	174,974,603	488,205,913	143,348,938	279,806,979	729,674	48,696,309
売買損	△ 2,807,379	△ 5,303,703	△ 4,641,586	△ 3,139,166	△ 57,718,432	△ 1,192,149
(C) 信託報酬等	△ 8,123,992	△ 8,503,304	△ 8,535,046	△ 9,250,878	△ 8,139,872	△ 8,334,066
(D) 当期損益金(A+B+C)	195,922,999	505,719,592	161,076,337	297,903,110	△ 34,991,671	69,040,905
(E) 前期繰越損益金	△11,706,480,445	△11,303,285,150	△10,637,928,954	△10,297,616,197	△ 9,894,204,475	△ 9,847,826,753
(F) 追加信託差損益金	△19,911,146,400	△19,582,330,302	△19,356,845,724	△19,065,366,831	△18,926,052,812	△18,780,786,424
(配当等相当額)	(275,277,028)	(270,459,542)	(266,973,908)	(262,696,439)	(260,474,510)	(258,341,942)
(売買損益相当額)	(△20,186,423,428)	(△19,852,789,844)	(△19,623,819,632)	(△19,328,063,270)	(△19,186,527,322)	(△19,039,128,366)
(G) 計(D+E+F)	△31,421,703,846	△30,379,895,860	△29,833,698,341	△29,065,079,918	△28,855,248,958	△28,559,572,272
(H) 収益分配金	△ 20,500,496	△ 20,137,914	△ 19,870,163	△ 19,543,883	△ 19,366,275	△ 19,201,339
次期繰越損益金(G+H)	△31,442,204,342	△30,400,033,774	△29,853,568,504	△29,084,623,801	△28,874,615,233	△28,578,773,611
追加信託差損益金	△19,911,146,400	△19,582,330,302	△19,356,845,724	△19,065,366,831	△18,926,052,812	△18,780,786,424
(配当等相当額)	(275,277,028)	(270,459,542)	(266,973,908)	(262,696,439)	(260,474,510)	(258,341,942)
(売買損益相当額)	(△20,186,423,428)	(△19,852,789,844)	(△19,623,819,632)	(△19,328,063,270)	(△19,186,527,322)	(△19,039,128,366)
分配準備積立金	19,689,038	29,964,709	38,945,128	48,229,627	50,258,081	57,200,702
繰越損益金	△11,550,746,980	△10,847,668,181	△10,535,667,908	△10,067,486,597	△ 9,998,820,502	△ 9,855,187,889

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2023年4月13日～2023年10月12日)は以下の通りです。

項 目	2023年4月13日～ 2023年5月12日	2023年5月13日～ 2023年6月12日	2023年6月13日～ 2023年7月12日	2023年7月13日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月12日	2023年9月13日～ 2023年10月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	30,610,526円	30,802,502円	29,348,552円	29,567,110円	21,996,691円	26,652,855円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	275,277,028円	270,459,542円	266,973,908円	262,696,439円	260,474,510円	258,341,942円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	9,579,008円	19,300,121円	29,466,739円	38,206,400円	47,627,665円	49,749,186円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	315,466,562円	320,562,165円	325,789,199円	330,469,949円	330,098,866円	334,743,983円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	76円	79円	81円	84円	85円	87円
g. 分配金	20,500,496円	20,137,914円	19,870,163円	19,543,883円	19,366,275円	19,201,339円
h. 分配金(1万円当たり)	5円	5円	5円	5円	5円	5円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

	第191期	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

○お知らせ

約款変更について

2023年4月13日から2023年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA
	ケイマン籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	リスクを抑制しながら安定的な収益の獲得をめざします。
主な投資対象	世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主な投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を主な投資対象とすることで、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 ・各通貨への投資比率は、各国の経済状況、金利水準、市場の流動性などに基づき決定します。 ・組み入れる債券は、原則として残存期間が3年以下(変動利付債の場合は10年以下)のものとなります。 ・ファンドの流動性を確保するため、一部米ドルやユーロなどの主要国通貨建ての債券に投資することがあります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。 ・株式への投資は行ないません。
収益分配	原則として毎月6日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	<p>純資産総額に対して年率0.323%程度(国内における消費税等相当額はかかりません。)</p> <p>※当該外国投資信託の純資産総額が200億円、為替相場が1米ドル=120円の場合の概算値です。</p> <p>※当該外国投資信託の信託報酬率の内訳は、純資産総額に対し年率0.30%~0.32%と、固定報酬として年額5,000米ドル(純資産総額に対し年率0.003%相当)です。</p> <p>※純資産総額や為替相場などにより円換算後の信託報酬率は変動します。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド
信託期間	2106年12月31日まで
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資ポートフォリオ

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド (クラス別)

SHARE CLASS	CURRENCY	TOTAL NET ASSETS(Balance)
A	JPY	9,315,086,477 (100%)

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド

2023年2月28日現在

社債等	元本金額	公正価値 JPY	純資産に占める 割合 (%)
国際機関			
PHP IBRD 4.5% 03-Apr-23	74,000,000	181,704,307	1.95
INR IBRD 0% 09-May-23	80,000,000	129,539,622	1.39
ZAR IBRD 7.5% 17-May-23	10,000,000	73,960,926	0.79
INR IBRD 0% 19-May-23	92,800,000	149,839,717	1.61
PLN IBRD 0.05% 27-Jul-23	13,400,000	401,037,532	4.31
INR IBRD 5.00% 07-Aug-23	28,000,000	44,863,616	0.48
INR IBRD 0% 24-Aug-23	38,100,000	60,106,960	0.65
IDR IBRD 4.3% 13-Sep-23	52,500,000,000	463,211,648	4.97
PLN IBRD 2.125% 18-Sep-23	630,000	18,887,139	0.20
IDR IBRD 7.89% 10-Oct-23	2,050,000,000	18,432,296	0.20
COP IBRD 2.9% 22-Dec-23	23,220,000,000	602,791,464	6.47
IDR IBRD 7.25% 15-Mar-24	38,450,000,000	345,780,047	3.71
BRL IBRD 5.4% 19-Mar-24	14,540,000	350,800,433	3.77
MXN IBRD 0% 30-Apr-24	93,000,000	593,720,370	6.37
ZAR IBRD 0% 20-Jun-24	58,200,000	384,133,508	4.12
MXN IBRD 0% 10-Jul-24	118,500,000	743,327,309	7.98
MXN IBRD 6.65% 30-Jul-24	40,000,000	275,267,420	2.96
ZAR IBRD 0% 20-Sep-24	17,500,000	113,829,225	1.22
PLN IBRD 1.53% 24-Oct-24	7,000,000	186,098,096	2.00
BRL IBRD 0% 14-Nov-24	2,740,000	58,512,328	0.63
ZAR IBRD 0% 29-Nov-24	20,870,000	132,781,219	1.43
INR IBRD 6% 16-Jan-25	349,100,000	560,300,292	6.01
CLP IBRD 2% 31-Jan-25	1,950,000,000	286,315,982	3.07
CLP IBRD 5.7% 07-Feb-25	3,420,000,000	539,491,097	5.79
IDR IBRD 5.5% 04-Mar-25	20,000,000,000	175,861,513	1.89
PLN IBRD 0.33% 25-Jun-25	20,000,000	494,418,459	5.31
BRL IBRD 0% 30-Jun-25	20,000,000	396,972,502	4.26
BRL IBRD 5% 22-Jan-26	12,500,000	277,072,436	2.97
ZAR IBRD 4.5% 22-Jan-26	32,180,000	215,811,753	2.32
IDR IBRD 4.6% 09-Feb-26	22,000,000,000	187,361,317	2.01
国際機関合計 (取得原価：8,227,209,255円)		8,462,230,533	90.84

	公正価値 JPY	純資産に占める 割合(%)
社債等合計(取得原価：8,227,209,255円)	<u>8,462,230,533</u>	<u>90.84</u>
純金融資産合計	8,462,230,533	90.84
その他純資産	<u>852,855,944</u>	<u>9.16</u>
純資産合計	<u>9,315,086,477</u>	<u>100.00</u>

IBRD = 国際復興開発銀行

デリバティブ商品とヘッジ活動

当ファンドは、その取り組むデリバティブ商品やヘッジ活動についての情報開示に関し、FASB会計基準編纂書に記される権威あるガイダンスを採用している。このガイダンスはデリバティブおよびヘッジ活動についての高度な開示を必要とし、それによって財務報告の透明性を高めている。このガイダンスの目的は、なぜ、どのようにデリバティブ商品が使われているか、デリバティブ商品や関連したヘッジがどのように会計処理されているか、そしてデリバティブ商品や関連したヘッジが財務状況や業績、キャッシュフローに関係するとすればどのような影響を与えているかについて、財務諸表のユーザーに対し理解を深めるための目安を示すことである。

このガイダンスを採用することで、資産負債計算書、損益計算書あるいは純資産変動計算書には何らの影響もなかった。当ファンドはいかなるデリバティブ商品もこのガイドの示すところのヘッジ商品として指定していない。

当ファンドは主に外貨のキャッシュフロー管理のための短期的なヘッジとして為替先渡契約に投資しており、主なリスク・エクスポージャーは外国為替リスクである。当ファンドが保有する為替先渡契約は外貨現金エクスポージャーの管理のためおよびリスク・ヘッジ目的で使用される。ただし、ASC第815号の要件に基づく会計目的上、これらのデリバティブはヘッジとみなされない。これらのデリバティブ商品の公正価値の変動額は損益計算書においてデリバティブに係る実現損失または未実現評価損の純変動額として反映されている。

デリバティブ商品とヘッジ活動(続き)

以下の表は2023年2月28日に終了した年度の損益計算書に含まれるデリバティブに係る純利益を示している。

	実現利益 日本円	未実現純損失の 変動額 日本円	合計 日本円	当期中平均活動額* 日本円
為替先渡契約	2,679,946	(655,797)	2,024,149	63,139,990

*日本円に転換された各契約の平均想定エクスポージャーを用いて計算された購入活動額に基づく当期中平均活動額

◆損益計算書

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド

2023年2月28日に終了した会計年度

	2023 JPY
投資収益	
利息収入	502,582,268
投資収益合計	502,582,268
費用	
管理報酬	4,377,551
運用報酬	24,320,976
受託者報酬	662,122
専門家報酬	9,053,618
保管費用	2,305,350
その他費用	990,702
ファンド費用合計	41,710,319
投資純利益	460,871,949
実現純利益および未実現評価損の変動額	
実現利益	
投資有価証券	947,437,710
外国為替取引および為替先渡契約	83,437,472
実現純利益	1,030,875,182
未実現(評価損) / 評価益の変動額	
投資有価証券	(74,226,070)
外国為替取引および為替先渡契約	8,885,327
未実現評価損の純変動額	(65,340,743)
実現純利益および未実現評価損の変動額	965,534,439
運用による純資産の純増加額	1,426,406,388

マネー・オープン・マザーファンド

運用報告書

第20期（決算日 2023年 1月16日）
 (2022年 1月18日～2023年 1月16日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2003年3月28日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

フ ァ ン ド 概 要

わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして安定運用を行いません。
 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
16期(2019年1月15日)	円		%	%	百万円
	10,165		△0.1	—	131
17期(2020年1月15日)	10,162		△0.0	—	696
18期(2021年1月15日)	10,159		△0.0	—	521
19期(2022年1月17日)	10,158		△0.0	—	398
20期(2023年1月16日)	10,155		△0.0	—	316

(注) 元本の安全性を優先した運用を行なっているため、ベンチマークおよび適切な参考指数となる指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2022年1月17日	10,158		—
1月末	10,158		0.0
2月末	10,158		0.0
3月末	10,157		△0.0
4月末	10,157		△0.0
5月末	10,157		△0.0
6月末	10,157		△0.0
7月末	10,157		△0.0
8月末	10,157		△0.0
9月末	10,157		△0.0
10月末	10,156		△0.0
11月末	10,156		△0.0
12月末	10,155		△0.0
(期 末)			
2023年1月16日	10,155		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年1月18日～2023年1月16日)

基準価額の推移

期間の初め10,158円の基準価額は、期間末に10,155円となり、騰落率は $\Delta 0.0\%$ となりました。

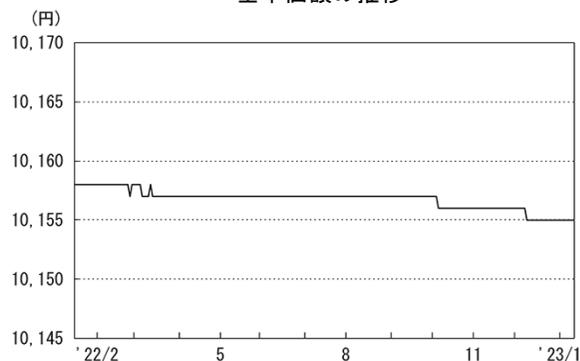
基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2022/01/17	2022/01/18	2022/12/09	2023/01/16
10,158円	10,158円	10,155円	10,155円

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの -0.03% 近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、 -0.03% 近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの -0.09% 近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、 -0.19% 近辺で期間末を迎えました。

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2023年1月16日現在)

2023年1月16日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 316,785	% 100.0
投資信託財産総額	316,785	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月16日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	316,785,966
コール・ローン等	316,785,966
(B) 負債	708,828
未払解約金	708,627
未払利息	201
(C) 純資産総額(A-B)	316,077,138
元本	311,251,070
次期繰越損益金	4,826,068
(D) 受益権総口数	311,251,070口
1万円当たり基準価額(C/D)	10,155円

(注) 当ファンドの期首元本額は392,661,920円、期中追加設定元本額は25,036,312円、期中一部解約元本額は106,447,162円です。

(注) 2023年1月16日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル3倍3分法ファンド(1年決算型)	161,056,339円
・グローバル3倍3分法ファンド(隔月分配型)	77,255,205円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(米ドルコース)	13,234,116円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(トルコリラコース)	10,805,868円
・世界銀行債券ファンド(毎月分配型)	9,201,097円
・資源ファンド(株式と通貨)ブラジルレアル・コース	7,904,694円
・高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	6,525,990円
・日興・GS世界ソブリン・ファンド(毎月分配型)	6,478,429円
・グローバル3倍3分法(適格機関投資家専用)	5,692,365円
・資源ファンド(株式と通貨)南アフリカランド・コース	2,653,229円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	2,474,477円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(ブラジルレアルコース)	2,088,033円
・資源ファンド(株式と通貨)オーストラリアドル・コース	1,228,287円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド資産成長型(米ドルコース)	1,188,936円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドルピーコース)	600,926円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(メキシコペソコース)	564,264円
・高金利先進国債券オープン(資産成長型)	558,277円
・グローバル3倍3分法オープン(適格機関投資家専用)	460,487円
・日興・世界ソブリン・ファンドVA(適格機関投資家転売制限付)	458,318円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(南アフリカランドコース)	428,256円
・上場インデックスファンド中国A株(ハンダ)E Fund CSI300	198,295円
・日興ビムコ・ハイインカム・ソブリン・ファンド毎月分配型(インドネシアルピアコース)	175,442円
・上場インデックスファンド海外債券(FISETWGBI)毎月分配型	19,740円

(注) 1口当たり純資産額は1.0155円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○損益の状況 (2022年1月18日～2023年1月16日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 82,862
支払利息	△ 82,862
(B) 当期損益金(A)	△ 82,862
(C) 前期繰越損益金	6,189,335
(D) 追加信託差損益金	392,589
(E) 解約差損益金	△1,672,994
(F) 計(B+C+D+E)	4,826,068
次期繰越損益金(F)	4,826,068

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

約款変更について

2022年1月18日から2023年1月16日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

寄付についてのご報告

「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）＜愛称 ワールドサポーター＞」は、2023年10月12日に第196期の決算を迎えました。

目論見書記載の通り、当ファンドでご負担いただいた当期間の信託報酬のうち、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じた金額、総額2,475,582円を、国際開発協会（International Development Association、通称IDA：アイダ）に寄付させていただきます。ワールドサポーターを通じたこれまでの寄付金の総額は累計で、551,088,992円となっています。

IDAは、世界銀行の名で知られる国際復興開発銀行（IBRD）の姉妹機関として1960年に設立されました。途上国の中でも特に貧しい国々を支援するため、経済成長の促進、不平等の是正、生活水準向上等を実現すべく超長期で無利子の融資や贈与を行なっています。

日興アセットマネジメントは、今後もワールドサポーターを通じて、世界の子どもたちに笑顔をもたらす新興国支援の取組みを応援してまいります。

引き続きワールドサポーターをみなさまの資産形成のツールとして未長くご愛顧いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。